

# [ 江別市 ] 施策達成度報告書

**政策** 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

**施策** 01 地域福祉の充実

主管課 福祉課

## 施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (23年度)	施策の課題 (23年度)
<p>平成24年4月の将来人口推計では、市の人口は平成17年をピークに減少し、平成30年からは12万人を下回る結果となった。また、平成22年時点で60～64歳が最も人口が多い階層となり、本市の高齢者人口の増加は拡大が見込まれている。経済状況や雇用情勢も引き続き厳しい状況が見込まれる。</p>	<p>高齢化や価値観の多様化などにより、自治会活動が難しくなり、地域における人間関係も希薄になっている。このような状況のなかで、高齢者人口の増加や地域を生活の場とする障がい者の増加が見込まれることから、互いに助け合う相互扶助の精神の醸成や、ボランティアが活動しやすい環境を整える制度や事業の整備が重要である。</p>

## 施策の目的

市民・ボランティアなどによる地域福祉活動を活発に行い、地域全体で支えあう仕組みづくりを進めることで、誰もが住みなれた地域で安心して生活できるようにします。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

高齢者、障がいのある方、地域住民

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

地域福祉活動が活発に行われる。

## 施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉が出来ていると思う市民割合	%	28.7	33.6	-	35.8	↗

## 施策の達成状況 (23年度)

「第2期江別市地域福祉計画」並びに「第2期地域福祉実践計画」等に基づき、ボランティア活動者研修の開催などによる人材の養成、ボランティア活動保険の加入費用負担や登録ボランティア団体への活動費助成などの活動支援のほか、生活費管理などに不安を抱えている方を対象に、地域で安心して生活できるようにサポートする日常生活自立支援事業の活用などに取り組んでおり、成果指標である『市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉が出来ていると思う市民割合』は増加傾向にあることから、地域全体で支え合う仕組みづくりは進展しているものと考えられる。

施策事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	183,382	172,307	188,943
事業費(千円)	148,321	137,795	154,144
人件費(千円)	35,061	34,512	34,799

## 01 福祉意識の向上

### 基本事業の目的

福祉・ボランティア教育などの啓発活動を充実することで、地域の人が互いに思いやりを持って共に支え、助け合いの意識をつくります。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

市民

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

地域に住む住民が、互いに思いやりを持って、共に支え、助け合う意識を形成する。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
福祉ボランティアに参加している、または参加したいと考えている市民割合	%	8.5	10.3	-	8.1	↗

### 基本事業の達成状況 (23年度)

成果指標である『福祉ボランティアに参加している、または参加したいと考えている市民割合』は21年度に比べて2.2ポイント減少していることから、市民の助け合いの意識が低下している可能性がある。地域における人間関係の希薄化や経済状況の悪化が原因として考えられるが、ボランティアセンターへの登録は22年度に比べて団体で2団体、個人で7人増加しており、地域に住む住民の意識が低下しているとは言い切れない面もある。引き続き「第2期江別市地域福祉計画」並びに「第2期地域福祉実践計画」等に基づき各種事業に取り組む。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,612	3,210	3,237
事業費(千円)	0	0	0
人件費(千円)	1,612	3,210	3,237

## 02 地域福祉活動の推進

### 基本事業の目的

様々な福祉活動メニューを充実させ、市民や福祉団体が積極的に参加することで地域の福祉活動が活発化します。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

社会福祉協議会、民生・児童委員、福祉ボランティア団体、地域住民

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

社会福祉協議会、民生委員の福祉活動が拡大、活発化する。福祉ボランティア団体による支援先が増加する。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
福祉ボランティア団体による支援先数	施設等	34	39	41	52	40
民生・児童委員の対応相談等の件数	件	7,478	6,168	6,360	6,391	8,000

### 基本事業の達成状況 (23年度)

成果指標である『福祉ボランティア団体による支援先数』は前年に比べて11件増加、『民生・児童委員の対応相談等の件数』は31件増加していることから、「第2期江別市地域福祉計画」並びに「第2期地域福祉実践計画」等に基づき、社会福祉協議会と連携してボランティア活動等に対する支援に取り組んだ結果、福祉ボランティア団体や民生委員の福祉活動が活発化していると思われる。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	118,358	117,748	121,668
事業費(千円)	106,268	110,525	114,384
人件費(千円)	12,090	7,223	7,284

基本事業の目的

広報活動の活発化などにより各種ボランティアの養成を進め、潜在的福祉のマンパワーを発掘、確保します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、ボランティア

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

各種ボランティアの養成により福祉のマンパワーが期待される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
ボランティア団体数	団体	40	39	41	42	45
ボランティア団体構成員数	人	1,465	1,533	1,530	1,557	1,650

基本事業の達成状況 (23年度)

「第2期江別市地域福祉計画」並びに「第2期地域福祉実践計画」等に基づき、ボランティア活動を支援(手話、要約筆記、点訳、朗読の奉仕員を育成する事業の実施など)し、その拡大に取り組んでおり、又、東日本大震災の影響もあってかボランティア団体、構成員数ともに微増ではあるが増えている。今後も引き続き、ボランティア団体の活動を広く周知するとともに、参加しやすい体制を整え、ボランティアの養成を進めていく。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	2,853	2,850	2,856
事業費(千円)	2,047	2,047	2,047
人件費(千円)	806	803	809